

国立病院機構名古屋医療センター臨床研究審査委員会
議事概要

開催日時：2024 年 9 月 26 日（木） 15：00～16：15
開催場所：臨床研究センター4 階 カンファレンスルーム（ハイブリッド形式）
委員出欠：*外部委員（TV 会議出席）

出席 10 名	小林麗(委員長)、平野隆司(副委員長)、佐藤智太郎、 片岡政人*（会場出席）、鋤塚八千代*、串田正克*、 後藤もゆる*、石田勢津子*、森川ゆず*、秦融* （医学/医療 5 名、法律・生命倫理 2 名、一般の立場 3 名）
欠席 1 名	松尾恵太郎*

I. 研究の審査

委員長より出席委員について、審査研究課題の当事者及び COI 確認を行い、臨床研究法の委員会成立要件を満たしていることを確認し、以下の研究課題（疾病等報告 6 件/6 報、変更審査 10 件、定期報告 6 件）についての審査及び簡便な審査(2 件)、実施計画事項軽微変更（2 件）についての報告を行った。なお、都合により後藤委員は途中より出席、佐藤委員は途中より出席でその後一時退席となったが委員会成立要件は満たしていた。

1. 疾病等報告（6 件/6 報告）

疾病等 1			
整 理 番 号	C2018-014		
研 究 課 題 名	MLL 遺伝子再構成陽性乳児急性リンパ性白血病に対するクロファラビン併用化学療法の有効性と安全性の検討をする多施設共同第 II 相試験および MLL 遺伝子再構成陰性乳児急性リンパ性白血病に対する探索的研究（JPLSG_MLL-17）		
研究代表/責任医師	大阪大学医学部附属病院 宮村 能子		
疾病等報告受付	2024 年 9 月 9 日		
審 査 参 加 状 況	（参加）後藤・佐藤委員以外の出席委員 （不参加）なし		
質 疑 応 答 者	なし		
審 査	敗血症（第 1 報；既知事象、因果関係あり、転帰：回復）について審議された。本事象は発現当初 Grade3 判定にて定期報告扱いであったが、経過において ICU 管理を要したなどから重篤相当と考えられ改めて疾病等報告となった事象。転帰回復、因果関係ありの判定に変更なしの報告において、臨床研究の継続については特に問題ないとされた。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結 論	判 定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他（ ）
理 由 等	—		

疾病等 2			
整 理 番 号	C2020-011		
研 究 課 題 名	小児急性骨髄性白血病を対象とした微小残存病変を用いた層別化治療、および非低リスク群に対する寛解導入後治療におけるゲムツズマブオゾガマイシン追加の有効性および安全性を検討するランダム化比較第 III 相臨床試験（JPLSG-AML-20）		
研究代表/責任医師	国立成育医療研究センター 富澤 大輔		
疾病等報告受付	2024 年 8 月 28 日		
審 査 参 加 状 況	（参加）後藤・佐藤委員以外の出席委員 （不参加）なし		
質 疑 応 答 者	なし		
審 査	敗血症性ショック（第 1 報；既知事象、因果関係あり、転帰：死亡）について審議された。試験治療完了後に発現した事象で、発熱・CRP 上昇を認め発熱性好中球現象として抗生剤等で治療し改善傾向になるが、再度発熱・CRP 上昇があり感染コントロール不良・血培で緑膿菌検出、抗生剤等を変えて 10 日程治療継続でも改善に至らず、一時的な SpO2 低下は酸素投与で改善した		

	が、その後突如 asystole となり蘇生を試みるも心拍再開せず死亡に至る。緑膿菌による敗血症性ショックと考えるが、試験治療薬投与が因果関係に関与する判定の報告において、臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。なお、本事象は試験治療完了後の発現であることから、疾病等発現後の措置は「該当せず」ではないかを確認すること、本症例の経過から敗血症性ショックとなる前に既に敗血症 Grade4 の疾病等報告が必要な状態になっていたことが推察されるため、報告事象・発現日を確認の上、追加報告を求めるとされ、委員会は全員一致で承認と判定した		
結論	判定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他 ()
	理由等	—	

疾病等 3			
整理番号	C2020-013		
研究課題名	小児、AYA 世代および成人 T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験 (JPLSG-ALL-T19)		
研究代表/責任医師	宮城県立こども病院 佐藤 篤		
疾病等報告受付	2024 年 8 月 30 日		
審査参加状況	(参加) 後藤・佐藤委員以外の出席委員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	一過性心停止 (第 1 報 ; 既知事象、因果関係あり、転帰 : 軽快) について審議され、早期強化療法開始後に発熱・呼吸状態悪化にて C T より両側肺炎・胸水貯留が確認され、SpO2 低下・徐脈を認めて間もなく発現した事象であり、心臓マッサージ、気管挿管により蘇生。血液ガスの結果より高炭酸ガス血症を来し、誤嚥と肺炎に伴う呼吸不全による心停止と考えられ、因果関係はありの判定の報告において、臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。なお、転帰「軽快」とあるが、軽快に至った経過が読み取れないため、もう少し詳細に経過を報告することとされ、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他 ()
	理由等	—	

疾病等 4			
整理番号	C2020-013		
研究課題名	小児、AYA 世代および成人 T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験 (JPLSG-ALL-T19)		
研究代表/責任医師	宮城県立こども病院 佐藤 篤		
疾病等報告受付	2024 年 9 月 10 日		
審査参加状況	(参加) 後藤・佐藤委員以外の出席委員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	播種性水痘带状疱疹ウイルス感染 (第 1 報 ; 既知事象、因果関係あり、転帰 : 回復) について審議され、再寛解導入療法開始後に頭部・体幹に水疱が出現し VZV 抗原陽性が確認された事象で、試験治療中断、アシクロビル・トロンボモジュリンアルファ・血漿交換療法開始、途中 ARDS にて一時的に人工呼吸管理を要したが転帰回復。デキサメタゾン・ビンクリスチン・ドキソルビシン投与の関与が考えられるとのことより因果関係ありの判定の報告において、臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされ、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他 ()
	理由等	—	

疾病等 5			
整理番号	C2021-001		
研究課題名	小児の複数回再発・難治 ALL に対する少量シタラビンと ブリナツモマブによる寛解導入療法の第 II 相試験 (JPLSG-ALL-R19-BLIN)		
研究代表/責任医師	神奈川県立こども医療センター 後藤 裕明		
疾病等報告受付	2024 年 9 月 6 日		
審査参加状況	(参加) 後藤・佐藤委員以外の出席委員 (不参加) なし		

質 疑 応 答 者	なし		
審 査	敗血症性ショック（第 2 報修正版；既知事象、因果関係あり、転帰：回復）について審議された。本事象の内容は既に報告済であるが、第 2 報報告の際の疾病等が発現した医療機関名」に誤りがあり医療機関名修正による報告であり、事象に係る情報に変更はないとのこと。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結 論	判 定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理 由 等	－	

疾病等 6			
整 理 番 号	C2020-012		
研 究 課 題 名	小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法の新施設共同第 III 相臨床試験（JPLSG-ALL-B19）		
研究代表/責任医師	埼玉県立小児医療センター 康 勝好		
疾病等報告受付	2024 年 9 月 22 日		
審 査 参 加 状 況	（参加）後藤委員以外の出席委員 （不参加）なし		
質 疑 応 答 者	なし		
審 査	急性膵炎（第 1 報；既知事象、因果関係あり、転帰：軽快）について審議され、寛解導入療法 IA2 後に腹痛・アミラーゼ増加を認めた事象で、試験治療中止、治療開始後肝障害・意識障害・血圧低下・ショックを認め ICU 管理、その後転帰軽快にて一般病棟へ転棟、因果関係ありの判定との報告において、当該臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結 論	判 定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理 由 等	－	

2. 変更審査（10 件）

変更 1			
整 理 番 号	C2018-013		
研 究 課 題 名	初発時慢性期および移行期小児慢性骨髄性白血病を対象としたダサチニブとニロチニブの非盲検ランダム化比較試験（JPLSG-CML-17）		
研究代表/責任医師	神奈川県立こども医療センター 慶野 大		
変 更 審 査 受 付	2024 年 8 月 5 日		
審 査 参 加 状 況	（参加）後藤委員以外の出席委員 （不参加）なし		
質 疑 応 答 者	なし		
審 査	施設削除(3)/追加(1)・施設情報・責任医師等の変更、研究資金及び関係企業等の追加等に伴う実施計画、研究計画書、説明同意文書、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画、並びに試料取扱マニュアル等の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結 論	判 定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理 由 等		

変更 2			
整 理 番 号	C2018-018		
研 究 課 題 名	初発小児フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病（Ph+ALL）に対するダサチニブ併用化学療法の第 II 相臨床試験（JPLSG-ALL-Ph18）		
研究代表/責任医師	慶應義塾大学病院 嶋田 博之		
変 更 審 査 受 付	2024 年 9 月 2 日		
審 査 参 加 状 況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし		
質 疑 応 答 者	なし		
審 査	施設削除(3)・研究代表医師変更・研究統括者設置・施設情報と責任医師等の変更、研究資金追加等に伴う実施計画、研究計画書、説明同意文書、アセント文書、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画、並びに、利益相反管理基準・疾病等モニタリング手順書・疾病等が発生した場合の対応に関する手順書・試料取扱マニュアル等の変更について審議され、当該変更について特		

	に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他 ()
	理由等		

変更 3			
整理番号		C2018-023	
研究課題名		小児再発・難治性急性白血病に対する低用量抗胸腺細胞免疫グロブリンを用いた T 細胞充満 HLA ハプロ移植の多施設共同単群非盲検試験 (JPLSG-Haplo-SCT16)	
研究代表/責任医師		福島県立医科大学附属病院 佐野 秀樹	
変更審査受付		2024 年 9 月 2 日	
審査参加状況		(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者		なし	
結論	審査	施設削除(1)・施設情報等の変更、関係企業及び医薬品の追加等に伴う実施計画、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画等の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。	
	判定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他 ()
	理由等		

変更 4			
整理番号		C2020-001	
研究課題名		高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するカルボプラチン・ペメトレキセド・アテゾリズマブ併用後ペメトレキセド・アテゾリズマブ維持療法の第 2 相試験 (CJLSG1902)	
研究代表/責任医師		伊勢赤十字病院 井谷 英敏	
変更審査受付		2024 年 8 月 26 日	
審査参加状況		(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者		なし	
結論	審査	施設情報・責任医師等の変更、研究資金及び関係企業の追加等に伴う実施計画、参加医療機関一覧、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画の変更、並びに統計解析計画書について審議された。統計解析計画書について生物統計専門家の評価は特に問題ないとのことも踏まえ、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。	
	判定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他 ()
	理由等		

変更 5			
整理番号		C2020-007	
研究課題名		高リスク神経芽腫に対する化学療法の追加及び予後不良群に対する KIR リガンド不一致同種臍帯血移植による層別化治療の多施設共同前向き臨床試験 (JCCG-JN-H-20)	
研究代表/責任医師		名古屋大学医学部附属病院 高橋 義行	
変更審査受付		2024 年 8 月 20 日	
審査参加状況		(参加) 佐藤委員以外の出席委員 (不参加) なし	
質疑応答者		なし	
結論	審査	施設情報・責任医師等・統計解析責任者の所属などの変更、関係企業等の追加等に伴う実施計画、研究計画書、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。	
	判定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他 ()
	理由等		

変更 6			
------	--	--	--

整 理 番 号	C2020-012		
研 究 課 題 名	小児・AYA・成人に発症したB前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法の多施設共同第 III 相臨床試験（JPLSG-ALL-B19）		
研究代表/責任医師	埼玉県立小児医療センター 康 勝好		
変 更 審 査 受 付	2024 年 8 月 22 日		
審 査 参 加 状 況	（参加）佐藤委員以外の出席委員 （不参加）なし		
質 疑 応 答 者	なし		
審 査	施設削除(2)/追加(8)・施設情報・責任医師等の変更、関係企業等の追加等に伴う実施計画、参加予定施設一覧、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画等の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結 論	判 定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理 由 等		

変更 7			
整 理 番 号		C2020-015	
研 究 課 題 名		若年性骨髄単球性白血病に対するアザシチジン療法の多施設共同非盲検無対照試験（JPLSG-JMML-20）	
研究代表/責任医師		名古屋大学医学部附属病院 村松 秀城	
変 更 審 査 受 付		2024 年 8 月 22 日	
審 査 参 加 状 況		（参加）出席委員全員 （不参加）なし	
質 疑 応 答 者		なし	
審 査	施設削除(3)/追加(1)・施設情報・責任医師等の変更等に伴う実施計画、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画等の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結 論	判 定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理 由 等		

変更 8			
整 理 番 号	C2020-204		
研 究 課 題 名	膵がん切除後の補助化学療法における S-1 単独療法と S-1 とメトホルミンの併用療法の非盲検ランダム化第Ⅱ相比較試験（ASMET）		
研究代表/責任医師	九州がんセンター 久野 晃聖		
変 更 審 査 受 付	2024 年 9 月 2 日		
審 査 参 加 状 況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし		
質 疑 応 答 者	なし		
審 査	施設情報・責任医師等の変更等に伴う実施計画、研究計画書 別紙 1 研究組織、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結 論	判 定	承認	☒ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理 由 等		

変更 9	
整 理 番 号	C2021-002
研 究 課 題 名	小児・AYA 世代の限局期成熟 B 細胞性リンパ腫に対するリツキシマブ併用化学療法の有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験（JPLSG-B-NHL-20）
研究代表/責任医師	国立病院機構名古屋医療センター 関水 匡大
変 更 審 査 受 付	2024 年 8 月 22 日
審 査 参 加 状 況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし
質 疑 応 答 者	なし
審 査	統計解析責任者の所属変更に伴う実施計画、研究計画書の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。

結論	判定	承認	☒ 全員一致	☐ 他（ ）
	理由等			

変更 10				
整理番号	C2022-202			
研究課題名	周産期のシンバイオティクス投与による食物アレルギー発症予防効果の多施設共同二重盲検ランダム化比較試験による検証（シンバイオティクス）			
研究代表/責任医師	国立病院機構相模原病院 柳田 紀之			
変更審査受付	2024 年 9 月 2 日			
審査参加状況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし			
質疑応答者	なし			
審査	分担医師の変更に伴う研究分担医師リスト及び利益相反管理計画の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。			
結論	判定	承認	☒ 全員一致	☐ 他（ ）
	理由等			

3. 定期報告（6件）

定期 1				
整理番号	C2018-013			
研究課題名	初発時慢性期および移行期小児慢性骨髄性白血病を対象としたダサチニブとニロチニブの非盲検ランダム化比較試験（JPLSG-CML-17）			
研究代表/責任医師	神奈川県立こども医療センター 慶野 大			
定期報告受付	2024 年 8 月 4 日			
審査参加状況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし			
質疑応答者	なし			
審査	当該研究の実施状況（対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価）について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。			
結論	判定	承認	☐ 全員一致	☐ 他（ ）
	理由等	—		

定期 2				
整理番号	C2018-023			
研究課題名	小児再発・難治性急性白血病に対する低用量抗胸腺細胞免疫グロブリンを用いた T 細胞充満 HLA ハプロ移植の多施設共同単群非盲検試験（JPLSG-Haplo-SCT16）			
研究代表/責任医師	福島県立医科大学附属病院 佐野 秀樹			
定期報告受付	2024 年 8 月 22 日			
審査参加状況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし			
質疑応答者	なし			
審査	当該研究の実施状況（対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価）について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。			
結論	判定	承認	☒ 全員一致	☐ 他（ ）
	理由等	—		

定期 3				
整理番号	C2020-001			
研究課題名	高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するカルボプラチン・ペメトレキセド・アテゾリズマブ併用後ペメトレキセド・アテゾリズマブ維持療法の第 2 相試験（CJLSG1902）			
研究代表/責任医師	伊勢赤十字病院 井谷 英敏			

定期報告受付	2024年8月8日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	当該研究の実施状況（対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価）について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。		
結論	判定	承認	☐ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理由等	—	

定期 4			
整理番号	C2020-007		
研究課題名	高リスク神経芽腫に対する化学療法の追加及び予後不良群に対する KIR リガンド不一致同種臍帯血移植による層別化治療の多施設共同前向き臨床試験 (JCCG-JN-H-20)		
研究代表/責任医師	名古屋大学医学部附属病院 高橋 義行		
定期報告受付	2024年7月18日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	当該研究の実施状況（対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価）について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。		
結論	判定	承認	☐ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理由等	—	

定期 5			
整理番号	C2020-012		
研究課題名	小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法の多施設共同第 III 相臨床試験 (JPLSG-ALL-B19)		
研究代表/責任医師	埼玉県立小児医療センター 康 勝好		
定期報告受付	2024年8月22日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	当該研究の実施状況（対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価）について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。		
結論	判定	承認	☐ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理由等	—	

定期 6			
整理番号	C2020-015		
研究課題名	若年性骨髄単球性白血病に対するアザシチジン療法の多施設共同非盲検無対照試験 (JPLSG-JMML-20)		
研究代表/責任医師	名古屋大学医学部附属病院 村松 秀城		
定期報告受付	2024年8月22日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	当該研究の実施状況（対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価）について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。		
結論	判定	承認	☐ 全員一致 ☐ 他（ ）
	理由等	—	

Ⅱ. 報告

1. 簡便な審査（2件）

簡便審査1			
整 理 番 号	C2024-001		
研 究 課 題 名	小児・AYA 世代初回高リスク再発急性リンパ性白血病に対するイノツズマブオゾガマイシンと mini-hyper CVD による寛解導入療法の第 II 相試験（PEDAYA-R23）		
研究代表/責任医師	東海大学医学部附属病院 山本 将平		
実 施 計 画 受 付	2024 年 8 月 26 日		
審 査 日	2024 年 8 月 27 日		
審 査 参 加 状 況	－		
審 査	2024 年 7 月 18 日 CRB 審査の指摘事項に対して提出された修正資料（実施計画、研究計画書、説明同意文書）は適切に修正されていることが確認され、他の審査資料については変更なく、承認と判定した。		
結 論	判 定	承認	☐ 全員一致 ☒ 他（小林委員長）
	理 由 等	－	

簡便審査2			
整 理 番 号	C2024-201		
研 究 課 題 名	スギ花粉症に対して長期のスギ舌下免疫療法を施行した小児患者を対象とした季節前のスギ舌下免疫療法の有効性を検討する多機関共同非盲検ランダム化比較試験（スギ花粉）		
研究代表/責任医師	国立病院機構相模原病院 海老澤 元宏		
実 施 計 画 受 付	2024 年 9 月 10 日		
審 査 日	2024 年 9 月 10 日		
審 査 参 加 状 況	－		
審 査	2024 年 8 月 28 日 CRB 審査の指摘事項に対して提出された修正資料（実施計画、研究計画書、説明同意文書、アセント文書及び日誌等の別紙資料）は適切に修正されていることが確認され、他の審査資料については変更なく、承認と判定した。		
結 論	判 定	承認	☐ 全員一致 ☒ 他（小林委員長）
	理 由 等	－	

2. 実施計画事項軽微変更報告：以下2件について報告した。

	整理番号	研究課題名	研究代表/責任医師	通知日	変更事項
1	C2020-001	高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するカルボプラチン・ペメトレキセド・アテゾリズマブ併用後ペメトレキセド・アテゾリズマブ維持療法の第2相試験（CJLSG1902）	井谷英敏	2024/8/26	管理者名
2	C2020-201	PD-L1 発現 50%以上の非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブ単剤とペムブロリズマブ＋カルボプラチン＋ペメトレキセド併用療法のランダム化第3相試験（NH0-Pembro-NSCLC）	小暮啓人	2024/8/30	進捗状況

Ⅲ. その他

・次回以降の開催予定日について説明

以上

文責：NMC 臨床研究審査委員会事務局